

【インド—社会】

# 日印国交70年、両国若者が8日間900キロを旅

日印国交樹立 70 年を祝う事業の一つ、両国の青年交流事業「900 km 横断・課題体感型アイデアソン」が 16 日から 23 日の 8 日間、インドで開かれた。日印から 18 ～25 歳の 40 人が参加し、経済発展が目覚ましいデリー首都圏（NCR）から 3,000 年の歴史を持つバラナシまでインド北部約 900 キロを旅。日印企業や世界遺産を見学して新旧の価値観を学び、最終日には両国の課題解決に関するアイデアをチームごとに発表した。

若くて大勢の IT エンジニア失業者を抱えるインドと、IT 人材の不足に悩む日本の両課題にうまく注目した。

発表会には、駐インド日本大使の鈴木哲氏や、インド日本商工会の若森進会長（丸紅インド社長）、同商工会の田口洋二理事（インド三菱商事社長）、インド外務省アドバイザーのアショク・クマール・チャウラ氏も出席。発表を聞いた日系企業の幹部らは各チームに、「類似ビジネスの問題点は話し合いましたか」などと質問し、場の盛り上げに一役買っていた。



ホンダのバイク工場見学で、ホンダ関係者に質問する参加者＝17 日、インド北部ハリヤナ州（実行委提供）



日印の課題解決に関するアイデアを発表する参加者＝23 日、北部ウッタルプラデシュ州バラナシ（NNA 撮影）

アイデアソンは、在インド日本大使館やデリー日本人会、インド日本商工会でつくる 70 周年事業実行委員会が主催した。参加者 40 人は「日本人男性 1 人、日本人女性 1 人、インド人男性 1 人、インド人女性 1 人」を 1 組とした 10 チームに分かれ、ホンダのバイク製造工場や、インドの IT 大手タタ・コンサルタンシー・サービス（TCS）の研究施設、霊廟（れいびょう）タージマハル、ショッピングモール、有機農業の拠点を見て回った。

23 日にバラナシで開かれたアイデア発表会では、10 チームが 20 分間ずつ、旅の経験も踏まえてアイデアをプレゼン。審査の結果、インドの IT 人材を日本企業に紹介するビジネスを提案したチームが 1 位を獲得した。

## 参加者「言葉の壁は高くない」

大阪府高槻市に住む大学 3 年生、大内明希（はるき）さん（21）と東京都文京区の大学 2 年生、石川里渚（りな）さん（19）が参加したチームは、プレゼン審査で 1 ～3 位入りは逃したものの、余剰食材の有効活用に関するアイデアを提案した。

大内さんは NNA の取材で「英単語がいきなり増えたわけではないが、ボディランゲージなどを使えば、言葉の壁は意外と高くないと思った」と話し、英語力に手

### PHOTO NEWS



地元のインド西部グジャラート州を訪問中のモディ首相がパレードを行い、大観衆が出迎えた＝29 日（PTI）

### TAKE OFF

ゴウツと風が鳴り、そのた  
びに部屋の窓がガタガタと揺  
れ肝が冷える。日本は台風の  
多発時期。ここ福岡にも 9 月  
だけで 2 回上陸した。  
上旬に襲来した 11 号の時に  
は、警報発令に合わせて学校  
や幼稚園の休校、休園措置が  
取られた。一方、会社は台風  
では休みにはならない。そこ  
で気になるのが、子どもが休  
みで親が出勤となった場合、  
困る人が少なからずいるので  
はないかということだ。  
東アジアを見てみると、台  
湾や香港では警報クラスの高  
風が来た場合、基本的に会社  
も学校も休みになる。経済活  
動は停滞するが、社会全体が  
一斉に休むという点は分かり  
やすい。  
さて、今回に限った話では  
ないが、台風は週末によくや  
って来るような気がする。台  
風が休校、休園の影響を避け  
ようと付度（そんたく）して  
いることはよもやないだろう  
が、それでも社会としての対  
応を見直すのは今のうちかも  
しれない。（翠）

応えを感じた様子だった。石川さんは幼少期にインドに住んだ経験があるといい、アイデアソンへの参加を通じて「将来、インドで働きたいと決心できた」と述べた。

大内さん、石川さんと同じチームだったインドの若者2人は、時間を守る大切さを口にした。

西部ムンバイに住む社会人、ニータ・ナヤルさん(25)は「時間を守るという、日本人の考え方はとても良い。時間をしっかり守れば、計画を前もって立てやすくなる」と言及。中部チャッティスガル州の大学3年生、リシット・モハン・ダスさん(20)も「僕が時間を守れば、他の人は効率的に働くことができる。時間を守ることは企業価値の向上にもつながる」と語った。

アイデアソンは期間中、スケジュールがタイトだったこともあり、バス乗車時など、各集合時刻をチーム全員が守れなかった場合はポイントを減点する仕組みを導入。遅刻に関する各チームの持ち点は、最終日に発表したチームワーク賞の評価基準の一つにしたという。



世界遺産タージマハルの前で記念撮影する参加者=19日、北部ウッタルプラデーシュ州(実行委提供)

## 【インド—車両】

### 政府、23年10月から6エアバッグ設置を義務化

運転席のほか最大8席を備えた車両「M1」カテゴリに対し、エアバッグ6つ以上の搭載を義務付ける法改正を巡り、インド政府は、2023年10月1日以降に製造した車両から適用する方針だ。早ければ22年10月以降の製造車両から適用する可能性があったが、1年先送りになった。ガドカリ道路交通・高速道路相が29日、ツイッターで明らかにした。

ガドカリ道路交通・高速道路相は自身のツイートで

「自動車業界が直面するサプライチェーンの制約などを考慮した」と1年間の猶予を設けた理由に言及した。道路交通・高速道路省はすでに、19年7月から運転席用エアバッグ、22年1月から助手席用エアバッグの装着を義務付けている。これらに加え、横からの衝突を含めて乗員への影響を最小限に抑えるため、8人乗りまでの自動車にエアバッグ4つの設置義務を追加することを検討している。

## 【インド—鉄鋼】

### JFEとJSWの事業化調査、年内完了へ

JFEスチールは29日、インドの鉄鋼大手JSWスチールと共同で同国に方向性電磁鋼板の製造販売会社を設立するための事業化調査が、年内に完了することを明らかにした。エコノミック・タイムズ(電子版)によると、両社が製造販売事業に乗り出す場合、10億米ドル(約1,450億円)規模の投資が必要になる。

方向性電磁鋼板は、変圧器、発電機の製造に用いられる。同紙の取材に応じたJSWのセシャギリ・ラオ共同社長によると、方向性電磁鋼板は高度な特殊鋼でインドでは100%輸入に頼っている。両社の合併での生産は、JSWが南部タミルナド州に置くビジャヤナガル製鉄

所で行われる見通しだという。

JFEスチールの広報担当者はNNAに対し、「事業化調査は12月に完了する見通しだが、事業開始時期については未定」とコメントした。投資額や生産場所については、検討段階のため回答は差し控えるとしている。

JFEスチールは、JSWに15%出資している。JFEスチールは、JSWと方向性電磁鋼板の製造販売会社を設立する事業化調査の実施で覚書を結んだことを21年に発表していた。これまでに両社の間で合併会社は設立されていない。

アンケート   
 ご協力お願い  
 回答者特典あり!!

## 日系企業現地社員給与動向

ウィズコロナ時代のリアルなデータを募集中! 回答はこちらから▶

NNA アジアビジネス  
データバンク